

- 1 日時
令和4年8月29日(月) 午後6時00分～9時00分
- 2 会場
府中市役所北庁舎3階第5会議室
- 3 出席委員
澤部会長、表委員、安部委員、平崎委員、小西委員、榎本委員(会長)、河村委員、嶋原委員、成瀬委員
- 4 議題
第3次府中市環境基本計画(案)の修正点について
- 5 議事内容
第3次府中市環境基本計画(案)の修正点について
 - ア 内容
基本方針1の内容について議論を行ったのち、他の基本方針や計画全体について審議を行った。なお、審議会が途中で中断されたため、その後メールでご意見を送付いただいた。
 - イ 主なご意見と事務局対応

項番	区分	ご意見内容	対応方針
1	全体事項	子供という言葉、「子供」「子ども」が混じっているので統一したほうがいい。	記載を修正しております。
2	基本方針1	P.34 個別施策2 家庭への新しい技術による製品の普及促進 市の取組 レジリエンス(P.31 項下参照)と入れたほうが親切	今後、巻末の用語集への記載し、整理いたします。
3	基本方針1	2, 40Pの気候変動への地域対応は、「地域気候変動適応計画」を府中市は策定しないが、一部取り上げています。 「地方公共団体実行計画 策定・実施マニュアル」で、記載を勧める文章もあります。 載せるなら、「地域気候変動適応計画」の存在も記載するよう提案します。	「第1章 計画策定の背景」の「3. 改定の方針」において、「激甚化した豪雨災害等も増加しており、地球温暖化に伴う気候変動への適応といった考え方も取り入れた計画とします。」と記載しており、気候変動の適応に関わる内容についても一部記載していることを明記しております

			が、本計画は気候変動適応法に基づく「地域気候変動適応計画」ではありません。なお、「地域気候変動適応計画」ではないことを改めて明記を行う必要がないことから、このことについて記載は行いません。
4	基本方針1	このままなのか例示なのかわからない。もう少し適切な表現にしていただけると助かる。字が小さすぎる。	記載を修正し、より見やすい内容に修正しております。
5	基本方針1	「脱炭素型のまちを目指します」という文言について、東京都のゼロエミッションでは脱炭素化という言葉を使っているの、それに変えられないか。	別の委員からのご意見も踏まえ、変更しません。
6	基本方針1	SDGsのマークの箇所。ゴールの表記で8が入っているのは珍しい。8には働きがいという定義も入っているの、温暖化の部分について働き方というところにも投げかけがあれば意図が伝わるのでは。	エネルギーの地産地消を推進し、豊富な地域資源を活用することで、地域経済の循環や雇用促進を図るとともに、重点プロジェクトで示した、市内で再生可能エネルギー設備や関連設備が大量に導入されることによる、調達・施工・メンテナンス等に関する産業・雇用の創出や新たなエネルギー産業の勃興を目指していく意味合いがあることから、SDGsのゴールとして「8」を記載しています。なお、グリーンインフレーションにつきましては、特段記載は行いません。
7	基本方針1	地球温暖化のからみの中で、働きがいの経済成長で語るの違和感があるので、グリーンインフレーションという観点、環境に配慮したために価格に転嫁されてインフレーションがひどくなり、経済が弱くなり、一般の方の生活が厳しくなるということがないようにしましょうという表現だとすっきりする。グリーンインフレーションの用語説明もない。環境に配慮したため値段が高くなることをそうならないように配慮するという表現はあってもいい。8は抜く必要がない。入れて、あれもあるこれもあるという表現でいいのでは。	
8	基本方針1	(「脱炭素化」or「脱炭素型」の表現について) 脱炭素型のまちを目指します、でいいのではないかと。イメージを提示しているということ。	このままの表現で記載させていただきます。
9	基本方針1	フロンの追記部分について、実態とあっていない。集計している業務用フロンのすべてがほしいな表現になってしまう。	「事業所・工場における空調機器等からの代替フロンの漏洩が一因」と表記しておりますので、業務用フロンのすべてといった表現とはなってありません。
10	基本方針1	代替フロンのコラムについては、文章の修正が必要である。	コラム中の文章の記載内容を修正しております。

11	基本 方針 1	全体を通して、資料をもう少し見やすくしてほしい。あとから挿入したグラフ・表の文字が小さかったり見づらかったりする。 パーセンテージを出す場合には、もととなるものを表示したほうがいい。	文字が小さい図表につきましては、修正しております。
12	基本 方針 1	原単位の推移の箇所。家庭・民生の折れ線グラフは原単位とは関係ない。ギガジュールも原単位と関係ない。わかりにくくなる原因になるのでとったほうがいい。また、右側の面積あたりの排出量は、みどり東京からは恐らく直接的には出てない。面積当たりのエネルギー消費量がどういったところも、エネルギーの消費に関しては、みどり東京では表現がない。CO ₂ やフロンのは出てくるがエネルギーは出てこない。これが正しいのであれば、どういう数字か書いて、出典を書いたほうがいい。	数値の根拠につきましては、市町村に提供されております「オール東京62市区町村共同事業」データとなっております。また、グラフに関しましては、エネルギー消費量原単位に絞ったグラフに整理しております。
13	基本 方針 1	「国と東京都の削減目標に整合させ」という文言はおかしい。国と東京都の目標は整合性がないので説明がつかない（2030年目標に対し、国は2013年比、東京都は2019年比）。 公式に出すのであれば、国が出している46%だと思う。それを上回る目標にするのであれば、その根拠を示さないといけない。	記載を、「国や東京都の削減目標を踏まえ」といった表現に修正しております。
14	基本 方針 1	p.31については地産地消が理解できないので、それについてのコラムだったと思う。それが突然コージェネが出てきたので、地産地消の疑問が残る。そもそもはそれについて説明してほしい。	地産地消に関するコラムについては整理し、よりシンプルで分かりやすいものに変更しております。
15	基本 方針 1	（地産地消のコラムについて）多摩川衛星組合では燃やしているごみのエネルギーをプールで使ったり、稲城市民病院で使ったりするのは具体的な地産地消の例。府中市はそういった事例がないので、そういうようなことが書ければ。建て替えようとしているリサイクルプラザで何かできることがあれば考えてほしい。	リサイクルプラザにつきましては焼却施設ではありませんので、エネルギーの地産地消のコラムにおいては、特段記載は行いません。
16	基本 方針 1	コージェネレーションシステムについて、P.31は全体を言っていて、p.34は家庭用のことを言っている。P.31はコラムが文章だけでわかりにくい。うまく一緒にするか、違う絵を入れるか。そんなことができれば。	コラムの内容を整理して、p.32は地産地消についてのコラム、p.35には家庭用燃料電池システムに関するコラムを記載します。

17	基本 方針 1	無電柱化の絵が気になった。どういう意図で入れたのか。環境に配慮したまちということなら、むしろケヤキ並木とかのほうが、絵として、防火にもなるし涼しいので。環境計画に適した絵にしたほうがいい。	写真を削除し、コラムとしてV P P（バーチャルパワープラント）を掲載し、将来のエネルギーの融通が行われるまちづくりに関する技術の紹介をしております。
18	基本 方針 1	P.36 個別施策2 人と環境にやさしい交通手段の構築 市の取組 交通機関などモビリティ 移動性に変更 モビリティはまだ一般的ではない。	脚注を加えるとともに、今後、巻末の用語集への記載し、整理いたします。
19	基本 方針 1	府中市のカーボンオフセット事業 14.3 トン、p.25 は 84.2 トンとなっている。これは本当か。急に4倍にもなるか。	1年間での整備による認証値と複数年認証で求められる認証値がございますので、コラムの文章を整理し、修正しております。
20	基本 方針 1	ハザードマップは全戸配布されているので、表紙だけでも記載すれば効果があるのでは。	追加いたします。
21	基本 方針 1	P.41 個別施策2 熱中症対策の推進 市の取組 直射日光を避けられる日陰スペースを増やします。（追記するとコメントはもらったが）	個別施策2 熱中症対策の推進において「市民・市民団体に対して、夏の暑さをやわらげる緑のカーテンづくり、打ち水の実施、クールスポットや日影スペースの創出などにより、熱中症の予防を呼びかけます。」と記載を変更しております。
22	基本 方針 1	どちらに書くのがいいかわからないが、木陰を増やしたほうがいいという議論があったと思うが、安易に伐採をしないと（書けないと思うが）いうのも大事だと思う。そういったことも含めて熱中症対策に取り組んで欲しい。	
23	基本 方針 1	前提として環境省が出している電力排出係数が46%の削減を前提に組んでいる。今の状態であればそこまで届かない。それであれば、ぜひ電気事業連合会や経済産業省が目標で出している29%削減のほうをとりあえず使って、国が定めている46%をとりあえず目標として設定するほうがいい。もしどうしても環境省の電力排出係数の46%でいく、目標を残すというのであれば、計算根拠を明示したほうがいい。	資料編の温室効果ガス排出量の推計結果部分で、より詳細に推計の資料を記載しております。
24	基本 方針 1	1、17P 付近に「地球温暖化対策地域推進計画」は環境省が作成しているマニュアル「地方公共団体実行計画 策定・実施マニュアル」に則って府中市は策定していると記載するよう提案します。	資料編において詳細な温室効果ガス削減目標値の推計を行った内容を詳細に記載しておりますが、そのなかで、マニュアルに沿った推計を行っ

		環境省のマニュアルに則って計算すれば、48%削減になるかどうかはわかりませんが、責任は回避できません。	たものであることを明記いたしません。
25	基本方針 2	全体的に人間が関与して形成された雑木林のような植生を良しとし、それ以前に存在したカシなど常緑樹主体の植生を否定するような表現がなされているが、多様な植生を認めるような表現にするべきである。	市内の特徴的な環境の一つとして雑木林を取り上げている部分はありませんが、市内全域の目標植生をかつての雑木林に定めるような内容、表現は用いておらず、武蔵台緑地のように、雑木林由来だけでなく、様々な常緑樹を含む植生も併せ持つ環境も市内の自然環境の多様性の一つと認識した記載をしており、表現の修正を要するとは考えておりません。
26	基本方針 2	「こども」の表記が「子供」または「子ども」と、統一されていない。 「子ども」の表記が望ましいとの意見もあり。	「子ども」に統一します。
27	基本方針 2	42Pの「3000万種の生物がいる」という記述も、43Pの「日本には9万種を超える生きもの」との表現も、おかしな表記です。日本の9万種は分類がほぼ終わった種の数ですし、3000万種は予測値の一つと理解することが適当です。名前がついている種は175万種で、未発見の生きものを推定すると3000万いても不思議ではない、という数字だと理解しています。従って、日本の9万種を基準にするなら、世界は3000万種ではありません。ウィキペディアでは300万から1億と推計値を紹介しています。以前、会議で指摘しましたが覚えていないようですね。	日本の生物種数の推定値を30万種に修正します。
28	基本方針 2	43Pの「生きものと人間のつながり」の図は最近のものようで、500万年の表記が見えます。 ただし、縄文時代を1万年前としたり、アンモナイトと思われる巻貝が見えますがアンモナイトは古生代から中生代までの生きもので、なぜここにいるかが不明です。 類人猿を人類誕生前に置いていることも、間違いです。	修正します。

		<p>類人猿であれば 500 万年以上前に系統樹として分かっているからサルなので、以降は原人や旧人、新人などと呼んでいます。</p> <p>河岸段丘・崖線の形成時期も関東平野が 10 万年前からでき始め、府中市の国分寺崖線や府中崖線は 1 ～ 3 万年前にはできていたと見られています。</p>	
29	基本方針 2	<p>3 , 素人でもわかるエラーを修正してください。あちこちにまだゴロゴロあるのではないかと危惧しています。</p> <p>48P の第 6 の大量絶滅については、生物相の説明（現代型生物」と「カンブリア紀型生物」説明位置が逆になっていたり、「古代型生物」が古代第型生物」だったり、ファメニア階がファメニ階になったりと、全くの素人の記載です。</p> <p>図は生物多様性白書 3 頁からの転載を記載していることはいいのですが、「地球誕生から…」の文章も 2 頁とほぼ同じです。</p> <p>しかも人間の歴史を 4 時間前と（約 200 万年前）していますが、平成 22 年頃とは違い、その後の考古学の発見により、今では約 500 万年前まで通説は人類の歴史をさかのぼって説明するようになっています。</p>	<p>誤字脱字を修正します。</p> <p>また人間史を約 5 0 0 万年前として記載を修正します。</p>
30	基本方針 2	<p>府中市内にはウマノスズクサが自然にたくさん生えており、ジャコウアゲハが飛んでいるが、一般の市民は知らずに刈ってしまっている。生物多様性の保全に身近に取り組みやすいものとして、ウマノスズクサ及びジャコウアゲハを指定種に入れてほしい。</p>	<p>委員の皆様のご意見をふまえますと、市内の生物多様性を評価する指標の指定種として現在の計画案に記載の種の構成に不足はないと考えますので変更は行わないこととさせていただきます。</p>
31	基本方針 2	<p>指定種にウマノスズクサ（絶滅危惧 類）、及びウマノスズクサを食草とするジャコウアゲハ（対象外）を入れることを検討して欲しい。</p>	<p>市内の生物多様性を評価する指標の指定種として現在の計画案に記載の種の構成に不足はないと考えますので変更は行わないこととさせていただきたいと思います。</p>

32	基本方針 2	「子どもたちを・・・積極的に参加させる」の「させる」という表現が威圧的である。	「子どもたちが・・・参加できるように努めるとともに」に修正します。
33	基本方針 2	「利用したり応援します」は「すすんで利用し応援します」が望ましい。	修正します。
34	基本方針 3	コラムの扱いについて、基本方針 1 については既出の難しい用語の説明として扱っていた。サーキュラーエコノミーについては、本文中に記載されていたか確認していないが、コラムに盛り込むのであれば、計画に記載してあるといいなと思う。	コラムにつきましては計画全体を通して、市民の方に知っていただきたい内容や、市の実施しているイベントについて記載しておりますので、直接的に記述がされていない内容についても記載を行っております。なお、サーキュラーエコノミーに関する市の取組といたしましては、「個別施策 1 ごみの発生抑制の推進」の市の取組 4 つ目に「市内の店舗と協議を行い、容器包装使用量の削減や、詰め替え容器、再生品、エコマーク商品など、環境に配慮した商品の積極的な販売を促します。」といった内容で記載を行っております。
35	基本方針 3	市の取り組み。2 将来世代の～。出張説明会。事業者がやっている出張事業のことではないか。出張説明会という言葉がピンとこない。企業に頼むのであれば、出張授業・出前授業などに書き換えたほうがわかりやすい。	「出張説明会」という名称で、資源循環推進課の職員が実施しているものですので、記載は修正しません。
36	基本方針 3	P.79 基本施策 1 ごみの発生抑制と再使用の推進 小西委員指摘のとおり、規格外農産物や学校給食残渣等ごみ減量推進課所掌案件以外も言及すべきである。	規格外農産物については、地元産農産物の地産地消といった内容で基本方針 2 で整理を行っております。規格外農産物の流通による農家への影響等も十分検証が必要であり、単純な廃棄物減量にはとどまらない問題だと考えております。 また、学校給食残さにつきましては、最終的に堆肥化されておりますが、こちらにつきましては、特段計画に記載するほどの内容だとは考えておりません。

			<p>なお、地元産農産物の地産地消とフードロスの削減、また、食育という観点も併せ持った事業として、「親子でエコクッキング」事業を行っておりますので、その内容を基本方針5の「基本施策3 環境学習の推進」における、「個別施策1 環境学習の機会の充実」の市の取組7つめに記載しております。</p>
37	基本方針4	<p>生活騒音と公害は一緒ではないか。ご近所トラブルと環境基本法の公害の定義とそぐわないところがあるのでないか。</p>	<p>生活騒音については、公害とはとらえておりません。</p>
38	基本方針4	<p>p.97 個別施策3 化学物質等の適正管理 市の取り組み 家庭から出るごみ収集対象外の化学物質等（例えばワックス）の廃棄方法の相談にも対応すべきである。</p>	<p>基本方針3の「適正な分別ルールの徹底」で整理を行っております。アプリやごみ分別辞典などで、分別ルールの周知を図ったり、関連事業者の掲載などを行っています。</p>
39	基本方針4	<p>P.88 3) 騒音・振動 P.2で近隣関係の相談が増加しているという記述と連動させるため、全体の騒音の%よりも、騒音の発生源別のグラフを記載すべきである。</p>	<p>騒音苦情の発生源別グラフに変更させていただきます。なお、騒音苦情は発生源別に、「工場」、「指定作業場」、「建設工事」、「一般」といった区分で行っております。結果を見ますと、近隣関係に基づくものも多い「一般」の苦情が最も多くなっております。様々な苦情対応を行っている中で、近隣同士の関係性の希薄化によって引き起こされている事例も数多くございます一方で、近隣関係に起因した騒音苦情は多種多様であることから、個別の苦情についてはっきりと近隣関係が原因か否かといった判断は行えない場合がございます。</p>
40	基本方針4	<p>P.88 3) 騒音・振動 ここに描かれているグラフは苦情の中での騒音の%を示していると思われるが、これは前項コラムの「典型7公害」の府中版といえる。分類が異なって</p>	<p>騒音苦情の発生源別グラフに図を変更いたします。</p>

		いるが、読み替え可能ではないか。むしろこのコラムとの連動で生きると思う。	
41	基本方針4	P.96 コラム 「生活騒音」を p.88 の 3) 騒音・振動 の項の下に移したほうが良い。騒音が多種多様という本文だけなので、このコラムやグラフで理解が深まる。	修正いたします。
42	基本方針4	ストック公害のコラムの案を送付するので、検討してほしい。	記載を修正しております。
43	基本方針4	市の取組「放射性物質について～努めます」の箇所。今でも健康被害などは専門家でも議論があるくらいなので、記載を削除し、市民が冷静な行動をとれるよう、適切な情報提供に努めますくらいにしてはどうか。	「放射性物質について、市民が冷静に行動できるよう情報提供に努めます。」といった内容で修正しております。
44	基本方針4	p.98 個別施策1 まちの美化対策ムクドリやカラスの大発生や、無責任な公園等での猫や鳩への餌やりは、糞尿による悪臭や汚染を招き、禁止の看板設置をすすめます。生物多様性は人間の生活を脅かしてまで進めるものではない。公害の悪臭の項目とも考えたが項がないのでここにしました。	市の取組として「ごみやたばこのポイ捨ての禁止、喫煙禁止路線の周知、喫煙のマナー向上、ペットのふん尿の適切な処理など、環境美化の啓発活動を引き続き実施します。」と記載を修正しております。あわせて、市民・市民団体の取組として「ペットのエサやり、フンの始末を適切に行います。」と記載を行っております。
45	基本方針5	「従来」と書いてあるが、以前も、地球温暖化や生物多様性でもそれなりに言及しているので、表現に問題がある。また、5行目の「限られた予算」という表現は、市民協働という考え方でやろうというときに、またそれ以外の活動も含めてですが、そのような表現が頭に出てくることは計画であるとしたら、環境保全活動センターなんてやっても意味ない。自分自身の活動も、市民協働という考えでやっているのであって、予算不足を補おうという気持ちはないので、入れること自体が失礼。	記載の内容を修正しております。
46	基本方針5	背景の前段。「従来の～主流でした」の箇所は、環境問題の歴史・環境史を振り返ると全然違う。最初はアメリカで自然環境を保全するためにどうすれば	記載内容を修正しております。

		<p>というところから始まり、南北問題が環境問題を引き起こしているのではないかと、自然を守るという視点だけでは十分でないのではないかとという流れがある中で、大変不十分。不適切。再検討いただきたい。</p>	
47	基本方針5	<p>環境保全活動センターのところ。「DXをとoshite」というのが気になっている。具体的になにをイメージしているかわからない。</p>	<p>記載の内容を修正しております。</p>
48	基本方針5	<p>多摩川清掃市民運動「成長しています」という表記があるが、現実にはギリ貧。「成長しています」と書かれてると困る。</p> <p>むさし府中青年会議所と協働し、と書かれているが、自治会や事業者もやっているの、そういうことがわかるように、表現を実態にあわせたものにしてもらえないか。</p>	<p>コラムの文章を修正しております。</p>
49	重点プロジェクト	<p>重点プロジェクト1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネを入れていただいたのは素晴らしいので、イメージ図にも省エネを追加いただきたい。 ・要望ですが、「市域における再生可能エネルギー利用可能性の調査」はおそらく府中市では太陽光、地中熱、温度差などの限定的な内容になると思、調査費用を費やしていただいても、当たり前の結果かつ実行性にかける可能性があるため、できるならFS調査（PPA導入を図る具体的な公共施設の選定、EV充電設備配置の具体検討、重点プロジェクト2の基地跡地留保地整備のエネルギー面の具体検討、蓄電池導入の具体検討）に取り組んでいただきたくお願いいたします。（内容の記載というよりは、重点プロジェクトの実行性、実効性の観点からのご提案です） 	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージ図について、省エネの要素も追加し、修正を行います。 ・ご指摘ありがとうございます。実行にあたり大変貴重なご指摘だと存じますので、今後の取組の上で参考とさせていただきます。
50	重点プロジェクト	<p>おそらく、タイプミスという点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点プロジェクト1の7行目「充放電設備」は「充電設備」が正しいものと想定。 <p>もし、V2Xのような相互電力融通の意図であれば、放電との記載ではなく、「相互電力融通」または「EVへの充電、EVからの給電」と記載いただくことが良いと考えます。</p>	<p>記載を修正しております。</p>

51	重点プロジェクト	<p>重点プロジェクト2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「バイオマス発電等」が追加されたことは都市型バイオマス活用の推進の面でとても良いことです。一方で追加するには具体検討（剪定枝等の資源量の把握、収集運搬方法、用地検討、発電（熱）利用システム検討（発電容量と民間投資が可能な事業性）、副生物（灰）利活用、需給バランス検討）が必須ですので、実行性を確保いただきたく、お願いいたします。 ・やや前半と後半の文章が分離しているように思われますので、「また」ではなく、「具体的には」として、「基地跡地留保地整備」につないでいただき、できるだけ具体的な検討内容を記載いただくとよいと考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「バイオマス発電等」につきまして、ご指摘ありがとうございます。実行にあたり、ご指摘の要素を踏まえながら、様々な観点で具体的な検討を行ってお参りたいと考えております。 ・「長期的には」といった内容で、記載を修正しております。
52	計画の推進	<p>P.118 推進体制図 前回は、 ・ の欠落を指摘し、修正版で復活したが、センターにナンバーがなかった。今回は第2次案に戻ったが、又 行政が欠落している。行政を意図的に隠すのならナンバー送りをしっかりすべきだし、小学生でもわかるミスを何故こうも犯すのだろうか。検討委が10年もかけて議論しているのがむなしい。最終版このままでたらどうなったか考えるだけでも恐ろしい。</p>	<p>記載を修正しております。</p>
53	計画の推進	<p>P.117 推進体制図以降は第2次基本計画で示されていた、市民、事業者、行政の役割が割愛されている。特に各主体の連携組織の役割としての府中市環境保全活動センター、評価組織の役割としての府中市環境審議会の記述を割愛している。その意図は何か。2次のP.90.91を残したいが、体制の前書きで足りているということか。ここは全く審議していない。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「1.2 進行管理」のなかで、環境保全活動センターと環境審議会の役割について記述を追加しています。</p>
54	その他	<p>SDGsの扱い方についてSDGsの扱いについて、会議中も少し質問させていただきましたが、しっかりした意図のないSDGsマークの使い方は、巷でいう「SDGsウォッシュ」と呼ばれ、批判の対象となる場合があるのでお気を付けください。SDGsウォッシュとは、実態や本質的取り組みがないのにも関わらずSDGsに取り組んでいるように見せかけること。企業価値の向上やブランディングのために、SDGsをポーズとして利用してしまうこと。今回の</p>	<p>資料編に基本方針毎に基本施策単位でターゲットの表記も追記します。</p>

		<p>報告書での扱いは、SDGs との関係についての説明が少し不足していると感じました。資料編に 17 の目標との関連性を記載いただけていますが、可能であればこの説明部分に関連する 169 のターゲットを抜き出して記載いただくことを提案いたします。おそらくですが、ターゲットになると関連として書くのが難しい箇所が出てくるのではないかと思います。いろいろな目標に関わって記載する（マークが多い）ことが大切というわけではなく、本来の目標やターゲットに合致するものだけを記載いただくことが大切だと思います。マークがキャッチーなので、こうなりやすいというのは致し方ないところですが、ご検討いただけますと幸いです。</p>	
55	その他	<p>1、府中市のデータについて</p> <p>温暖化の影響を、府中市民が自分の街の変化から感じ取れるデータがない。この点を改善したほうがいいのではないかと。</p> <p>【改善のご提案】</p> <p>府中市の気温が高くなってきているという事実を可視化すれば、地球温暖化への危機感を認識してもらえらと思います。そこで、17 ページの「2.地球温暖化・気候変動に関する背景」の文章 3 段落目から以下の文言とグラフを追加してはどうかと考えました。</p> <p>（文言案）</p> <p>このことは、府中市に暮らす私たちにとっても、けっしてひとつとはありません。グラフ（図 4.1）をみるとわかるとおり、府中市の年間平均気温は、この 4 年間でおよそ 1.5 度ほど上昇しています。また、8 月に限ってみると、1.8 度ほど上昇しており、熱中症などの人的被害の増加も懸念されます（図 4.2）。</p> <p>（新たに挿入頂きたいグラフ）</p> <p>図 4.1 府中市過去 45 年間の平均気温の推移（小西さんがアメダスデータから作成したもの）</p> <p>図 4.2 府中市 8 月過去 45 年間の平均気温の推移（同上）</p>	<p>第 1 章 計画策定の背景に記載する市の概況において、府中市の気候について記載しておりますが、この中で、府中市における気温の推移等について、追記しております。</p>

56	基本方針 1	<p>2、大きな事業所に関する事実の記述について 国（環境省）の定める特定事業所に指定された31事業所だけで、府中市の事業所の排出する二酸化炭素のうち相当量の排出がある。そうであるならば、そうした事業所と行政が情報を共有できるような仕組みをつくるよう試みてはどうか。</p> <p>【改善のご提案】</p> <p>たしかに、府中市は大きな事業所が多く、そこから排出される二酸化炭素の割合が大きいという事実は、背景として述べる必要があると感じます。また、そうした事業所に改善をお願いするためにも、実際に行っている取組み、先進的な取組等の情報を共有するような場を設定するのは、たしかにより提案だと思えます。そこで、1の文言とあらたなグラフのあとに、以下の文言を挿入してはどうかと考えます。</p> <p>（文言案）</p> <p>なお、府中市では環境省の指定する31の特定事業所が283千t CO₂の二酸化炭素を排出しており（環境省自治体排出量カルテ）、これは府中市の産業部門・業務部門の合計492千t CO₂の約6割にあたります。</p> <p>関連して、「こうした動向を踏まえ」の部分は「こうした府中市の現実と国内外の環境政策の動向を踏まえ」にしてはどうかと考えます。</p>	<p>計画本文中に、温対法に基づく特定事業所の温室効果ガス排出量が多いこと、6者協定の枠組みを活用して、ゼロカーボンシティに向けた取組を推進し、協定外の事業者や市民に対しても、温室効果ガス排出量の削減に向けた情報の共有や、取組の水平展開を行うことを記載しております。また、資料編において、特定事業所の温室効果ガス排出量の推移を追記しております。</p>
57	基本方針 1	<p>3、23頁の48パーセント削減の根拠について 48%削減という目標値を環境省のマニュアルから導き出したのであるなら、そのように推計したという断り書きを入れるべきではないか。</p> <p>48%削減にいたる根拠を、「新規開発製品の省エネ率」「各家庭の買替率」「市民の行動変容率」「世帯数の変化率」「排出係数の変化率」などにもとづき、わかりやすく示さないと、市民は行動の根拠が分からない。根拠が分からないと、市民は心の底から腑に落ちたという思いから行動できないのではないか。</p> <p>【改善のご提案】</p> <p>1)市民が、一見して48%削減の根拠を理解できるよう、23ページの次のページに、計算の根拠</p>	<p>資料編において、計算の根拠を詳細に記載するとともに、目標値を環境省のマニュアルから推計したことを記載しております。また、排出係数については、巻末に記載予定の用語解説に記載します。</p>

	<p>を分かりやすく図示したページを追加した方がよいと感じました。いまのままでは、市民のみなさんが読んでも（私自身も）、なぜこういう数字になったのか理解できず、行動変容につながらないと思われるからです。逆にいえば、48%の根拠が分かりやすく示されると、だからこういう数字になって、こういう取り組みが目指されているのかと腑に落ちて、みなさん行動をして下さると考えます。そこで、根拠として、事務局が計算した内容を項目ごとに記せばよいのではないかと考えました。下の図はあくまでも例で、事務局の計算に則して「新規開発製品の省エネ率」「各家庭の買替率」「市民の行動変容率」「世帯数の変化率」「排出係数の変化率」ごとの数字を示したら分かりやすいかもしれない、というものです。</p> <p>2) こうした根拠の図の下に、分かりにくい排出係数などのコラムを追加してはどうでしょうか。</p> <p>3) 23 ページの削減目標の図の下に、環境省の「地球温暖化対策計画」を参照し導出したなど、推計の際に参照した先の詳細を記した一文を載せてはどうでしょうか。</p>	
58	<p>全体事項</p> <p>4、計画の指標の位置づけの明確化について</p> <p>計画案の指標は、このままでは絵に描いた餅になりかねない。</p> <p>（澤なりの変換）計画内の指標は、期間中に計画の実施がうまくいっているかをはかるためのものであるということを明確に示したほうがいいのではないかと。</p> <p>【改善のご提案】</p> <p>25頁「5. 計画の推進にあたって参考となる指標の整理」の冒頭の文に、以下の下線部分の文言を追加してはどうかと考えました。</p> <p>（文言）</p> <p>基本方針1の進捗状況を把握するため、次の指標を設定します。これらの指標は、府中市が基本計画の進捗状況を市民のみなさまに報告する際の指標となり、基本施策の過不足を補うなど目標達成のための取り組みを弾力的に進めるための基礎的な数値となります。</p>	<p>各基本方針に設ける「計画の推進にあたって参考となる指標の整理」の説明文を修正しております。</p>

59	その他	<p>5、行動指針についての言及 計画のなかでは、行動指針への言及が明確に行われておらず、繋がりがわかりにくい。</p> <p>【改善のご提案】</p> <p>13 ページ「2 . 基本方針」の5つの基本方針のあとに、以下のような文言を入れれば、基本計画、行動指針、進捗を管理する表の関係が市民の皆様にも分かりやすく提示できるのではないかと考えます。現在の案では、これらの関係性が明示された箇所が見当たらないので、ご検討ください。</p> <p>(文言案)</p> <p>なお、本計画では、これらの5つの基本施策の実現に向けた取り組みを推進するため、本計画を基礎とした、市民、事業者のみなさんの取り組みの参考となる「行動指針」を定めます。あわせて、各基本方針ごとに定められた指標にもとづく「進捗管理表」を作成し、計画が円滑に進められているかどうかをチェックする際に利用します。</p>	<p>第2章計画の基本的事項における、1.計画の位置づけにおいて、行動指針の内容について記載を追加しております。</p>
60	その他	<p>6、行動指針のなかに盛り込む内容について</p> <p>【ご提案】</p> <p>市民のみなさんに、どう行動すればよいかをよりわかりやすく示すため、小西委員から提案された武豊町の環境家計簿のようなものを行動指針のなかに盛り込んではどうかと考えます。また、その際、市民のみなさんが取り組みやすくなるよう、家計にどれくらい響くか/改善されたかが分かるようにした方がよいと思います。そのうえで、その文書を市のホームページからダウンロードできるようにしておくと、多くの市民が温暖化の観点から家計を見直す行動をとって下さるのではないかと期待されます。</p>	<p>環境行動指針のなかで、環境省が行っている「うちエコ診断」や各エネルギー会社が提供している家庭でのエネルギー使用量や料金を確認できるウェブサイトの利用等の促進について記載を行ってまいります。</p>

以上